



お天気解説

アキラのズバツと

雷鳴だ！すぐに頑丈な建物へ

令和5年4月21日

気象防災アドバイザー 藤井 聡

真っ黒な雲が近づく・・・昼なのに空が急に暗くなったり、冷たい風が吹いてきてヒヤッと感じたりしたことはありませんか？ これは雷を起こす「積乱雲」が近づいてきたしるしなんです。

雷が落ちることを落雷といい、人に落ちて大けがをしたり死亡したりすることがあります。下校時、校庭を歩いていた小学生が落雷を受けて死亡した例や、部活でピッチャーマウンドに立った高校生に落雷した例もあります。雷はまわりより高いところに落ちやすいのです。

積乱雲が近づいてきた場合は、河川敷や運動場など広い場所にいると自分が一番高いことになるため、落雷しやすくなります。

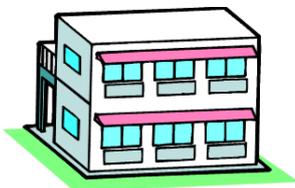
そして木の下も危険です。

ドッグランに遊びに来ていた子が、急に雨が降ってきたので木の下で雨宿りをしたところ、木に落ちた雷がその子に移ってしまい死亡しました。

雷の時、木の下で雨宿りをするのはやめましょう！



積乱雲が近づいてきた空（筆者撮影）



積乱雲が近づいたら、近くの頑丈な建物にすぐに避難しましょう。

大人の皆さま、積乱雲が近づいてきたら外で遊んでいる子供たちに声をかけてあげてください。